

地域包括支援センターの業務に関するアンケート調査の結果について

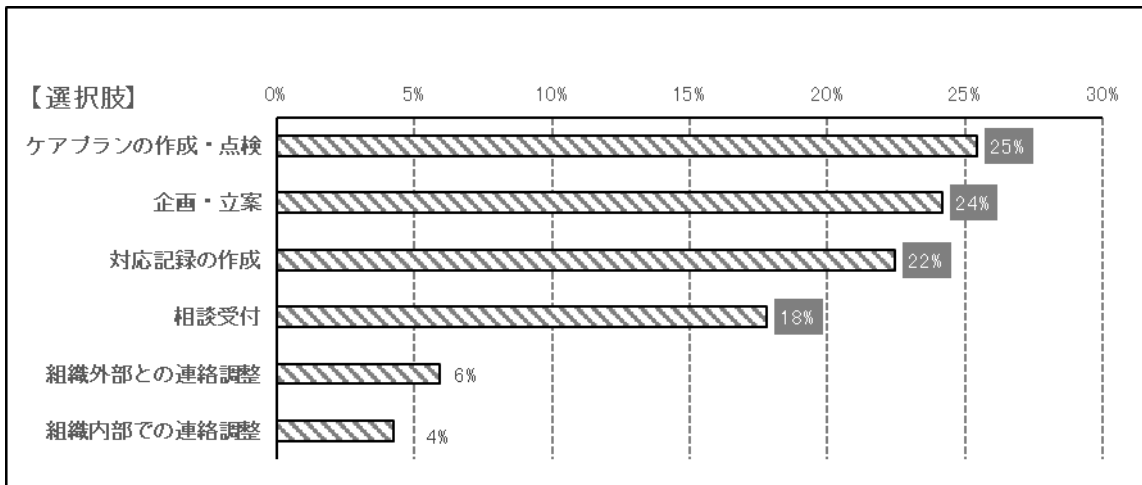
1 調査概要

本市が今後の施策を検討するに当たり、各地域包括支援センターの業務効率化や負担軽減について、アンケート調査を実施した。

調査期間	令和4年6月13日～令和4年6月24日
調査対象	センターに勤務している職員 398人 (指定介護予防支援事業所職員を含む。)
回答数	236人 (回答率 59.6%)
調査方法	WEBアンケート

2 アンケート結果 (一部抜粋)

(1) 日常業務で最も負担に感じているもの



(2) 負担に感じる理由

業務名	主な理由
ケアプランの作成・点検	<ul style="list-style-type: none"> ・ 処理件数が多い。 ・ 紙媒体で管理が面倒である。 ・ 各種法令や市が実施する他の事業に対する深い理解が前提になるなど、処理に高度・広範な知識を要する。
企画・立案 (地域づくり活動、会議・研修内容の検討等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種法令や市が実施する他の事業に対する深い理解が前提になるなど、処理に高度・広範な知識を要する。 ・ 処理件数が多い。
対応記録の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 処理件数が多い。
相談受付	<ul style="list-style-type: none"> ・ 処理件数が多い。 ・ 対応困難事例が精神的に負担になる。